

チョコの英語教育

チェコの教育事情

・チェコの教育は無料で6歳から15歳が義務教育です。公立大学も今のところ無料である。健康保険も26歳までの学生は国が負担する。1年から5年生が小学生で、6年から9年生が中学生である。

・1学期は9月1日から12月末。2学期は1月1日から6月末まで。

・小学校の先生は22時間/週勤務し、中学校では21時間/週勤務する。

小学校の先生の初任給は約10万円で徐々に昇給するが、27年教えても13万円を超えることがない。大学の先生の給料はもっと低い。そのため、個人的に生徒を教えたり、副職を持っている先生も多い。

・6年生から（または学校によっては8年生から）テストに合格すると普通の中学に行かずに、Gymnasium と呼ばれる大学進学コースの中学校に進学が出来る。

チェコの英語教育

・英語は外国語の主たる言語で、3年生から義務化されているが、特別言語学校など、学校によっては1年生スタートする。

・今は大学入試や大学院入試には英語が必要。

・英語の授業は週2クラスである。5年生からは週に3クラスになる。

・学級は大体30人であるが、英語の授業は上級クラスと非上級クラスに分かれるので、15人程度となる。

・第2外国語は普通ドイツ語かフランス語であるが小学校では選択科目になる。今年からは8年生から必修になる。しかし、特別言語学校では第2外国語は3年生でスタートする。

・中学校では、英語と他の外国語が必修になる。普通だいたい週に4クラスである。すべての生徒が英語とチェコ語と他の2科目で終了テストを受ける。

・すべての学校で言語教育に重きが置かれている。なぜならより良い教育と雇用機会と人生により多くの可能性をもたらすと考えられているのからである。

・夏に山で英語合宿をすることが小学生に人気がある。

・多くの生徒はケンブリッジ英検、TOEFL またはほかの外国語学校のテストに合格しようとし、語学力を高めるために中学校卒業ご英語圏に旅行したりする。

・1989年より私立学校が設立されるようになる。私立小学校は英語学校以外はあまりない。私立中学校や高校はある。

・話を聞かせてくださった Petra 先生は5年生からロシア語、6～7年生ぐらいに英語を習い始めた。昔は、英語よりドイツ語が盛んであった。それで、40歳以上に人はあまり英語を話さない。プラハで一般の人は英語が上手な人はそう多くはいなかった。国が隣接するヨーロッパの国なので、それでもたぶん、日本人よりは上手だと思う。

